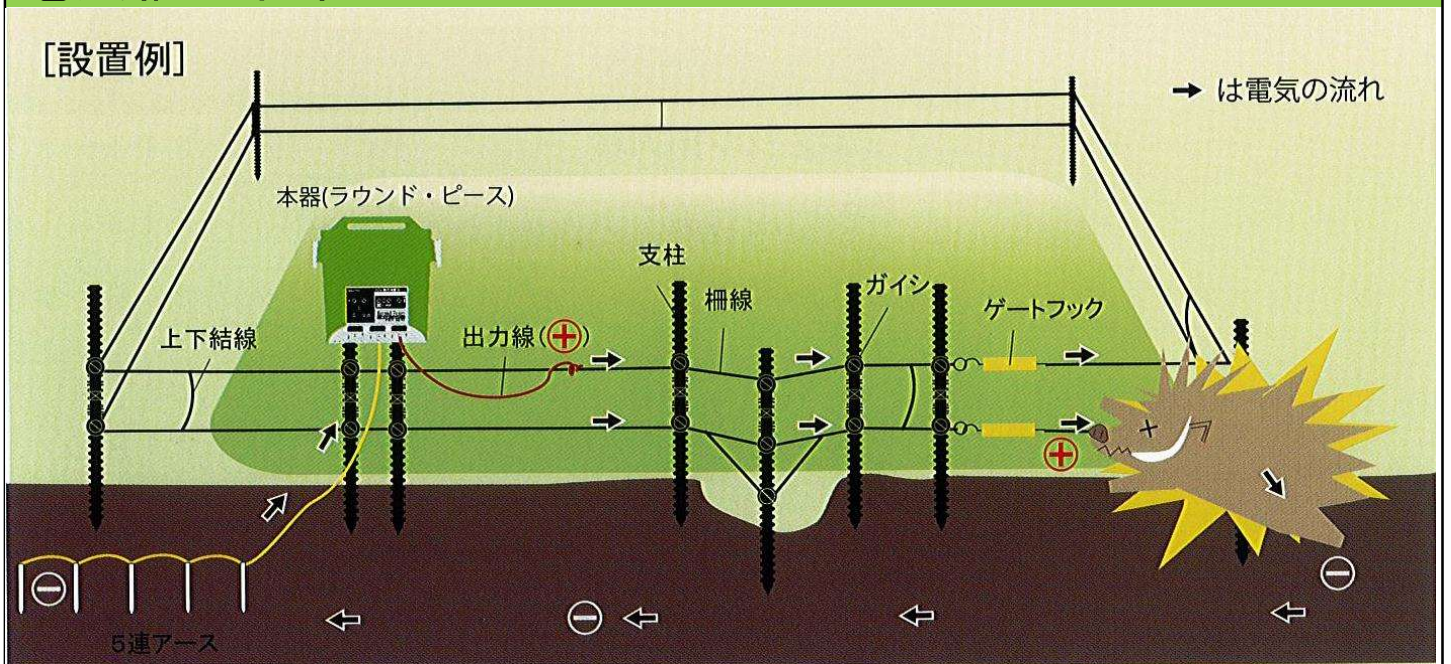


電気柵について

電気柵とは？

電柵器が発生する電流を電柵線に流し、これに触れた動物に電気ショックを与えるものです。一度電気ショックを経験した動物は学習し、近寄らなくなります。人が触れた場合、瞬間的に電気ショックを感じますが、微量な電流なので安全です！！

電気柵の仕組み



- ①田畑の周囲に電柵線を張り、電柵器の出力端子に出力線、アース端子にアース線をしっかりと接続します
- ②電柵線には一定間隔で衝撃電流が流れ、電柵線とアース(地面)が動物と接触すると「電柵器→電柵線→動物→地面→アース」という閉回路が形成され、動物は強い電気ショックを受けます。
- ③アースがなければ電気ショックを受けません。

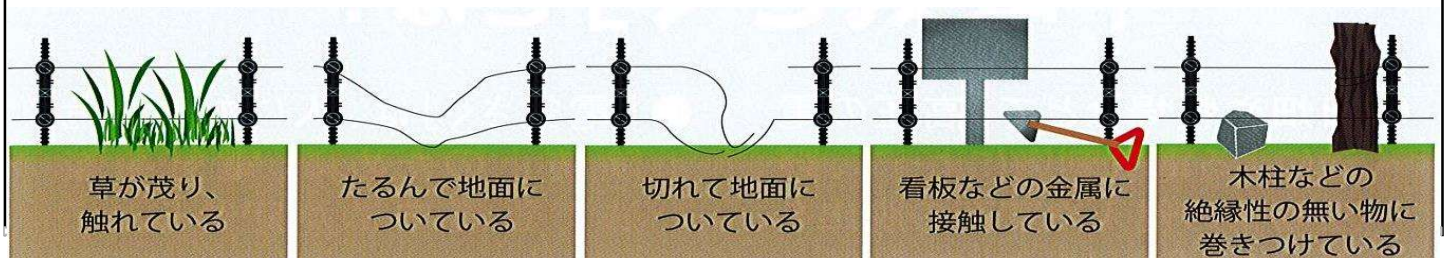
アースはとても重要です

※アースは、電柵器で最も重要な意味を持っています。しっかり深く埋設してください。
 ※湿り気のある場所に約1m間隔ですべて埋めてください。

効果的な電気柵の使い方

電気柵は管理が大切です。

少なくとも週に1度は見廻り、下記のような所が無い点検してください。



対象動物(イノシシ、シカ、サル、小動物、放牧)別に生態や特徴を理解して電気柵を設置すれば、高い効果が得られます。ご相談お待ちしております！！